# アンサンブル　　尾見敦子

## 授業概要

声やさまざまな楽器の演奏法やアレンジの方法を学び、アンサンブルを習得します。自然の中の音に耳を澄ませたり、身の回りにある音の出るものを探したり、それらをもとにグループで音楽づくりをします（アンサンブルの創作）。その他、提示したものの中から、メンバーの興味や関心に応じてさまざまなアンサンブルを楽しみます。

## 授業計画

| | |
|---|---|
| 第１回 | オリエンテーション 受講者の人数、興味や関心に応じた計画を立てる。 |
| 第２回 | リズム・アンサンブル（１）身体楽器 |
| 第３回 | リズム・アンサンブル（２）リズム楽器 |
| 第４回 | リズム・アンサンブル（３）即興的創作 |
| 第５回 | 声のアンサンブル（１）ユニゾン |
| 第６回 | 声のアンサンブル（２）唱え言葉やリズム楽器を重ねる |
| 第７回 | 声のアンサンブル（３）わらべうたの２部合唱 |
| 第８回 | 声のアンサンブル（４）わらべうたの３部合唱 |
| 第９回 | 声のアンサンブル（５）鑑賞 |
| 第 10 回 | トーンチャイムでアンサンブル（１）奏法と読譜練習 |
| 第 11 回 | トーンチャイムでアンサンブル（２）楽曲の仕組み |
| 第 12 回 | トーンチャイムでアンサンブル（３）表現法の探求 |
| 第 13 回 | 日本の楽器でアンサンブル（１）和太鼓の奏法 |
| 第 14 回 | 日本の楽器でアンサンブル（２）和太鼓の表現法 |
| 第 15 回 | 発表会とまとめ |
| 第 16 回 | 期末レポートの提出 |

## 到達目標

① 声や楽器によるアンサンブルの楽しみを味わい、音楽的感性を高めます。
② 互いに聴き合い、心を通わせて音楽を創り上げていく喜びを味わいます。
③ 合唱を通して楽譜を読む力を習得し、合唱や器楽の技能を向上させます。
④演奏発表する喜びを味わいます。

## 履修上の注意

出席を重視します。楽譜の忘れ物がないようにすること。受講者同士のコミュニケーションをとること。授業内に集中して演奏技能の習得に努めること。履修者の状況に応じて計画を変更することもあります。

## 予習復習

予習：前回に指示する。復習：習得した技能の維持・向上のための練習を行うこと。

## 評価方法

授業への参加度（30%）演奏発表（50%）期末レポート（20%）

## テキスト

なし